

英人ピットマンヨリ中村大書記官へ来翰翻譯
拜敬 迂生儀今回ホニコンへ来着イタシ候段御
告知申上候

一来著以来政務上高賣上及ヒ諸被ノ事務ニ付
迂生取扱ヒ候件々左ニ報告イタシ候尤モ財
務上ノ件ニ至テハ大隈閣下別段注意ノ事ニ
付別述可仕候

○借金過料ノ件

一第二期ノ納金一萬「テ」ハ納ノ期限去月十第



一月日本領事安藤太郎へ拂納相成候残余五千
テイル拂納ノ儀ハ上海品川領事ノ手内ニ在
ル抵當品引換ニ受取候儀迂生即今辨理中ニ
有之候

○廣東ノホッポ―
名官

一 迂生此地來著ノ砌廣東ノホッポ―へ緩々面
話ヲ得候處今人ハ別紙財務報告書ニ陳述候
如ク日本ノ貿易銀ヲ廣東省へ流通ノ儀周旋
イタスヘキ旨約束イタサレ候

○阿片一件ノ勅令

一 當國ヨリ英國へ派遣ノ使節郭氏ヨリノ覚書ニ
對シ支那政府ハ帝國一般今ヨリ三箇年ノ後ヲ
期シ阿片飲用ヲ禁スルノ勅令ヲ發セラル由此
勅令發表ストモ到底画餅ニ屬シ可申候此陋習
ヲ一通ノ勅令如キニテ禁止セントスルハ本ニ
縁リ魚ヲ求ルニ類スルハ儲テ置キ現今支那國
ノ會計上阿片ヨリ生シ來タル收金ヲ至要トス
ルノ場合ニ在ルヲ奈何センヤ

○秘魯國へ賤民移住之件

一 一ノ米國商行オリファント社中ノ看護ニテ當地

近傍ノ支那地方ヨリ秘魯國へ賤民ヲ移住セシ
ムルノ件再發致シ候オリフアント社ノ支配人テ
ユーリー氏ハ秘魯國領事ニ拜命セリ
「子ミシスト」名付ケタル二千五百噸積ミテ大汽船
ハ全ク移民ノ用ニ供スルタメニ英國ヨリ入港
セシニホニコンノゴウルノルガ此ノ企ヲ抵抗
セシニ因リ白耳義國旗ニ改メタリ
先年「マリヤルス」一件ニ付キ日本ノ所置振ヲ迂
生ヨリ「ゴウルノル」へ子レー氏ニ談話セシニ企
氏ハ此度日本ノ所置振ニ慣ヒテ處分セント決

心シ彼汽船ノ持主等ニ告知シテ云ハク「子ミシ
」号ハ今既ニ白耳義國ノ船ナリト虽モ賤民搬
運ノタメニハ決シテ當港ニ於テ船ヲ搬スルノ
權タモアルコトナシ因テ航海ノ諸用具ヲ却却
シタル后チニ非サレハホニコン港ヲ出ルヲ許
サ、ルヘシ
當藩属地ノコウルノルハ該船カ當港ヨリ賤民
ヲ搬運スルヲ許サ、ルニ因リ該船ニ於テハ廣
東地方ヨリ搬運センコトヲ試ミタリ併ラゴウ
ルノルへ子レー氏ノ考案ニテハ全地方ノ官吏ニ

於テモ之ヲ許サ、ルヘシト尤モ此四ノ移民ハ
先般秘魯支那兩國間ニ取結ヒタル新條約面ニ從
ヒタル自由移住ナルヘク察セラル、ト虽モ英
國ノ所分ハ迂生ノ考案ニ拠ルトキハ大ヒニ其
正理ヲ得タルモノトス此儀後ノ批評必ス惡シカル
ヘキ物ト視為シ此儀ニ助カヲ與ヘサリシナリ
元來秘魯政府ハ支那ヨリ賤民ヲ輸入セシタメ
前ニ述ヘタル米國商人ト約ヲ結ビシト見ユ
其航船ハ毎年支那秘魯兩國ノ間ヲ三四往返シ
一航海ニ賤民一千名ヲ輸送ノ積ノ由ニ聞エタ

リ航路ハ廣東ヨリ一直ニホノルル
府ニ至リ支ヨリ日本ニ立寄ラスシテ秘魯ニ赴
クハレ

賤民ノ價值トシテ秘魯政府ハゴアノ一糞即ニ
トレトソトダ若干ヲ送ル由此ノ糞料ハ貴下
モ定メテ知り給フ如ク秘魯國ノ產物ニテ政府
ノ獨有ニ係ル処ナリ當廣東一省ニテ一年ゴア
ノ一ニ千噸餘ヲ引受ケルト聞ク然レハ支邦人
カ此糞料ノ益アルヲ知リタルハ今ニ始マリタ
ル一ニ非ス而シテ甘蔗植ヘ付ケニハ尤モ必要

ニシテ支那南方ニテハ此品消費高年々増加ニ至ルト云

○支那招商局紀事

北方ニ於テ此商局ノ景況ハ甚ハタ隆盛ナラズ本年秋ノ頃李鴻章ト天津ニアル局員トノ會合ハ全ク其株主等ノ苦情告訴アリシガタメナリ然ルニ李鴻章ハ曾戶約セシ處ノ六十万¹テール¹ノ出金ヲ停メ今ヨリ後チ一切前渡金ヲナスヲ否ミタルヲ見レハ全局幹事ヨリノ辨解ニ厭セサリシモノト見タリ又一説ニハ李鴻章ハ北

地ノ鑛山開發ノタメニ全局ニ約セシ渡金八十¹万¹テール¹ヲ破談ニ及ヒシト斯クアレハ該商局ハ李トノ交際恢復スルニ非レハ榮盛ニ至リカタカラシ

南京ノ總督沈葆楨ト李トノ間ニモ既ニ不和ヲ生セリ此一件ハ去ル一月中米國汽船購求ノタメ沈ヨリ百二十万¹テール¹ヲ給與セシ事ニ基ケリ此金額ハ李氏ノ勸メニ因テ南京ノ總督之ヲ支給セシモノナルニ此一件ヲ皇帝ニ奏聞スルニ至リ沈ハ李ト連名ノ奏狀ヲ捧ケントスルニ

及ンテ李ハ此事ノ擔保ヲ免カレント欲スルモ
ノ、如ク沈ノ處置ニ抵抗ヲ起セリ而シテ其後
種々難論アリテ終ニ連署スルトニ決シタレト
之ヨリ兩總督交際大ニ和平ヲ欠クニ至リシ
ト云フ

沈ノ云フ所ハ幾分カ理アルニ似タリ云々兩江
ニ沈ノ管下ノ歲入ノ内ヲ以テ常ニ若干ノ額ヲ分
テ李ノ事業ノ消費ニ充ツト彼ノ吳淞ノ鐵道
ノ如キ其一例ナリ

沈ハ是ヲ止メレトテ決意シタリ錢道破却ノ一

ハ專ラ茲ニ胚胎セリト云フ

○丁撫臺ノ一件

三月前・報告セシ如ク丁氏ハ職ヲ辞シ去リテ
再ニ官ニ就クノ意ナキニ似タリ聞ク處ニ據レ
ハ先年臺灣事件ノ時沈葆楨ノ副官タリシ潘氏
現今湖北ノファンタイナルカ此人福建ノ新知事
トナルヘシト云フ潘ハ(定)メテ西郷中將モ承知
ナラン)甚タ勳勳ニシテ伶利ナル官吏ナレハ或
ハ臺灣島開墾ヲ勸ムルモ知ルヘカラス

○呂宋群島煙草植ヘ付ノ事

煙草植付ノ事ハ新班牙政府ノ注意ヲ獲スル処
ニシテ客年マニラ地方ヨリ輸出ノ額八十萬包
ニ上リシト云フ日本ノ或ル地方ハ其地味軟テ
マニラニ譲ラス此産物ノ繁殖ヲ鼓吹セラレシ
ト迂生カ苦勸スル所ナリ

○ 瑪港葛藤ノ事件

廣東ニ在ル支那官吏ノ從事セル瑪港一件ノ難
事ハ廣東在留佛朗西領事ノ中介ニテ輒ク一定
ニ歸シタルモノ、如シ

ホツポ、云フ所口ニ於レハ瑪港ニアル葡萄

牙官吏ノ所行ハ實ニ苦情ヲ鳴ラスニ足モノナ

リト

此葛藤現今平定ニ至リレハ真ニ姑息ニシテ其
再ニ破論ニ至ランコト且タニアラントスルニ
似タリ葡萄牙カ瑪港ヲ所有スルノ權ヲ争フコ
トスサシ而シテ支那ハ早晚葉國ト直チニ争擾
ヲ起スニ至ラレカ又其タメニ力足ラサルニ非
ス且實ニ其正理アルト確然ナリ

○ ホンゴンノゴウルルノ事

ホンゴンノゴウルルハ銳意シテ當藩屬地ノ

政務ヲ辨理シ且ツ隣境ノ支那官貨ト平和交睦
ノ交際ヲ廣フセントテ勤メタリ阿片稅漏洩ノ
タメニ支那稅關ノ損害ヲ防禦セントタメ全氏ハ
支那式船ノ夜間ニ當藩屬地ヲ出帆スルヲ禁シ
晝間ハハルボウルマストル長ノ裝行セシ許狀
ヲ所持スルモノニ限り出港ヲ許セリ日本貿易
銀ヲ藩屬地ノ本式通貨ト規定スル一件ハ全氏
盡力周旋スヘキヲ迂生ニ約セリ此議別ニ詳述
スヘシ且ツ全氏ハ本年春間ニハ日本ニ渡航シ
淹留シテ三四月ヲ過カントス

○日本米ノ件

日本米ノ相場ハ尚氣合ヲ保テリ一担ニ付キ
ニドルラハ六十五セントハ今日ノ相場ニ候
迂生此地到着ノ頃ヨリ廣東ニ在ル支那官吏ハ支
那曆新年前渡シナレハ日本米十萬担ヲ引受ケント
云ニ而シテ日本ヨリ承諾ノ否ヲ待チ居レリ
現今ノ高價ハ永ク引續キ難シト存候其譯ハ禁
根ノ出来高平常ヨリ多ク大約一月二十日頃ヨ
リ彼地輸出相始メル由ニ聞ユル故ニ候
暹羅ヨリノ輸出ハ此程禁止ノ處之ニ解弛ニ

相成タル由然レハ十分ノ供給達カラスシテ
此市場ニ達シ可申併シナカラ此節日本ハ米
價騰貴ノタメ巨利ヲ獲ラレ候儀ト存候
チンキヤン及ヒヤンツイ河辺ノ地方ヨリモ
許多ノ運米此地、到着イタシ候

○銅ノ件

銅ノ要求ハ仍ヲ平々ナリ是レ印度ヨリノ評
判餘リ面白カラサル故ニ候併ラ日本銅許多
賣消セラレシハ近日ノ事ナリ

カストルツイル 油ヲ生スル樹

印度政府ハ此植物ヲ取寄セ印度所轄ノ島地
ニ植付シカ大ニ繁茂セリ是ヲ日本ニモ政府
ヨリ下命シテ
輸入アラシト遷生カ大ヒニ勸ノ申ス所ニ候此
樹ハ支那北方ニ於テハ天然野生ノモノニシテ
此ヲ求ムルニ價值ヲ要セス田野ノ疆域ヲ限ルタ
タメ又ハ生^{イタ}牆^{カキ}等ニ用ヒテ佳趣アリ抑此樹ノ有
益ナルヲ擧ケハ製作場ニ要用ニシテ商品トモ
ナルヘキ良油ヲ生スルノミナラス其織緯ハ以
テ紙ヲ製スヘク其屑子ハ日本ノ地質ニ的要ナ

ル肥料トナルヘシ

ホントントアウタラリヤ洲ノ間ノ諸務漸々増
加スル勢ニ付其弁用ノタメ右西地ヲ往返スル
航海船路即今既ニ設置ニ相成候

○外國債ノ件

外債招募ヲ許可セル敕書一通ヲ別紙トシテ入
貴覽候是ハ從來銀ヲ以テ基本トイタシ有之候
處種々紛論ヲ後去ル十一月初旬金貨ヲ以テ基
本トスル事ニ一定イタシ候此書面上唯金ヲ以
テ銀ニ換ヘタルノミニテ其他文意大体差異無

之候尤モ此國債ノホント証券ハ過半ロンドン
府市場ニテ發行相成候

臺灣島及ヒハイフウン地名ノ件

大隈閣下ノ囑付セラレシ貿易銀ノ件及ヒ其他
ノ諸務ヲ弁了セハ迂生ハ臺灣ニ赴キ彼ノ豊富
ナル一島ノ進歩ノ景況ヲ一見シ英ニ彼ノフ
ンス人ノ殖民地ニテ開發尤モ速カナルトニキ
ン即チハイフウンニモ相越シ何カ有益ナル報
告ヲ進呈セント存居候臺灣島ノ鑛山開發ニ関
係セシ或ハ支那官負ハ此程五万トルラルノ損

1475

耗ヲ受ケタリ是全ク厦門寄留ノ一洋行ノ閉店

セシニ因レリトソ拜具謹言

香港ニテ

千八百七十七年十二月廿八日

ダヨンピットマン

太政官書記官中村弘毅殿